



ステップ！！

福山市立東朋中学校
第2学年 学年通信

2021年(令和3年)

10月26日(火)

進路について考える

自分の「夢」や「将来」について考える。進路選択は、将来の生き方を考えることから始まります。

○中学校を卒業してから学校に通ったり仕事をしたりと様々な道をたどりながら一生を生きていきます。これまでは、まわりの友だちと一緒に小学校に通い、中学校に進学してきましたが、これからは、「自分で進路を選ぶ」ことが必要になってきます。皆さん自身の人生ですから、自分で自分の「生き方」を考えていくことが大切です。

○人によって様々な道をたどりますが、いずれは、みんな働きながら生活をしていきます。「働く」ということは、生きていくために必要なものを手に入れる活動であるだけでなく、社会の一員としての役割を果たすという活動でもあります。このことは、自分の持っている能力を発揮し、適性に応じて生きがいのある生活を送るということにもつながっていきます。

○私たちのまわりにある様々な職業のどれもが、私たちの社会になくてはならないものです。そして、社会の変化に対応して新しい職業も生み出されています。これらの様々な職業の中から自分に合った職業を見つけ出すためには、どのようなことを学び、どう生きていけばいいのか自分自身の「生き方」を考え、探し求めて行くことが必要です。
(「進路の学習」より)

みんなが「修学旅行」に行くために必要だった職業は？と考えたとき、バスの運転手さん・ガイドさん・添乗員さん・ホテルの従業員さん・船の船長さん・食事を作った調理師さん・配膳してくれた人・お土産を販売していた店員さん・サファリパークで動物の世話をしていた人・食材を作った人……。そして、旅行のための旅費を出してくれた家族の職業。どの人がいなくても、旅行は成立しませんでした。ちょっと大げさですが、それぞれの職業の人たちが、自分の仕事をした結果、みんなの「修学旅行」が成立しました。こんなふうには世の中は、たくさんの職業を誰かがしてくれているおかげで、自分たちの生活が成り立っています。今はまだ、どんな仕事がしたいかはっきり決まっていな人の方が多いですが、まずは、そこから。将来、どんな「仕事」をしたいか？その仕事につくためには、どんな資格や学歴が必要か？まずは、どんなことが学べる学校へ進学すればいいか？と方向が決まっていきます。でも、まだまだ「仕事」が絞れきれない人がほとんどだと思います。そんな人は、多くの仕事や次の進学先が「高校卒業」を条件にしているのです。まずは、進学しましょう。選ぶ条件は、その学校がしている行事や活動、自分がやりたい部活動があるなどで決めてもいいと思います。高校の3年間で「何がやりたいか？」考え次の進路を決めればいいのです。

○集会に、3年の熊谷先生が来てくださって、3年生の今の感じを教えてくださいました。最近受験の話がだんだん多くなってきて、どこに行こうかめっちゃ迷っています。3年の真ん中っていつでも、もうすぐだなんてすごく思います。2年生もほんと早いなと思います。あと1年を大切にしようと思います。

○学活に3年の先生が来て高校などについて話をしてもらいました。高校に行けるように、学校生活も真面目にしていこうと思いました。

○今日の話聞いて、中学校を卒業すると、就職か進学か選ばないといけないと言うことが改めてわかった。少し悩んだけど、何も決まっていなかったら「進学して、3年間で次のことを考えたらいい。」というのを聞いて、そうだなと思ったので、進学に向けて頑張ろうと思う。

○熊谷先生の話で「自立」と「自律」について、3年生の状態を教えてくださいました。授業中に寝たり、姿勢が悪かったら（足を組んだり・後ろを向いたり）いけないということがわかった。後で自己チェックでもまだ出来ていないことがあったから、少しずつでも出来ることから改善していこうと思った。

一押し！いろいろなものに応募しています！！

いろいろな活動が制限されるなか、何か出来ないかと考え、選択課題として、昨年から、いろいろなものに応募してきました。今年の夏休みも1人1個以上の選択課題をやって応募しました。実りの秋、そろそろ結果が出始めました。

<中国新聞>「ニュース 5・7・5」 採用されました。

『マスクさん あなたと一緒に もう嫌です 田中杏奈』

「ヤングスポット」
採用されました。

中学生 川高 結 13歳
昨年、中学校に入学しバドミントン部に入り、新型コロナウイルス禍の中、走り込みや素振りに明け暮れた。
2年生になり、夏に先輩たちが引退した。「今度こそは」と張り切っていた。そんな中、コロナ感染拡大に伴って長い間、部活動が中止された。
中学校の体育館はもちろん市立の体育館も使えない。家の前の道路が練習場所になった。私にとって初め

納得できる部活動を

ての大会はあるのだろうか、実力は付いているのか、自分の力を試せるのだろうか…。先の見えない状況の中で、誰に聞いたら答えてもらえるのだろうかと思った。
普通に大会が開かれ、大会に向けて部活動をする。当たり前だと思っただけなのにこんなに尊いものだ、コロナ禍になって気付いた。
どうしたらこれまでの当たり前に戻るか私には分からない。ただ、納得のいく練習や試合をしたいと心から願っている。
(福山市)